

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	母性看護	単位数	1単位 (1、2学期)	学年・学科・コース	2年・衛生看護科
使用教科書	看護学入門12 母子看護 (メヂカルフレンド社)			副教材等	なし

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、母性看護の実践に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母性看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</li> <li>・母性看護に関する多様な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。</li> <li>・母性看護について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、母性の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</li> </ul>
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
健全な母性観・父性観を育み、これを基に具体的な事例を通して学習することによって、性と生殖に関わる健康の保持増進、生命の尊重及び人権の擁護を行うために必要な知識と技術を身に付けている。	母性に関する健康課題について具体例を取り上げ、看護の職業倫理を踏まえ、性と生殖に関わる健康、生命の尊重及び人権の擁護、文化や習慣の配慮、意思決定の支援やセルフケアを目指す視点からの援助を考察するとともに、実施する援助とその根拠を明確にして課題を解決する力を身に付けている。	母性の健康課題の解決に当たっては、性と生殖に関わる健康を目指すとともに、生命の尊重及び人権の擁護を重視し、主体的かつ協働的に看護の実践に取り組む態度を身に付けている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
7 8	母性の健康と看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母性の概念</li> <li>・母子保健の動向</li> <li>・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ</li> <li>・母性看護の特徴</li> <li>・母性看護の倫理的課題</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・母性の健康と看護について理解できる。</li> <li>・母性の健康と看護に関わる多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見出すことができる。</li> <li>・母性の健康と看護について自ら学び、母性の健康の保持増進を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	定期考査 授業態度 発問評価 提出物 小テスト 技術到達度
9 10	女性のライフサイクル各期の健康課題と看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期</li> <li>・成熟期</li> <li>・更年期</li> <li>・老年期</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性のライフサイクル各期の看護について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。</li> <li>・女性のライフサイクルの各期の看護について多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見出すことができる。</li> <li>・女性のライフサイクル各期の看護について自ら学び、母性の健康の保持増進を目指し、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	定期考査 授業態度 発問評価 提出物 小テスト 技術到達度
10 11 12	周産期の看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期の正常経過と看護 (妊娠期の生理と妊婦の看護) (分娩) (期の生理と産婦の看護) (産褥期の生理と褥婦の看護) (新生児期の生理と看護)</li> <li>・周産期の異常と看護 (妊娠期の異常と看護) (分娩期の異常と看護) (産褥期の異常と看護) (新生児期の異常と看護)</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期の看護について理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。</li> <li>・周産期の看護について多様な課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見出すことができる。</li> <li>・周産期の看護について自ら学び、周産期の健康の保持増進を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	定期考査 授業態度 発問評価 提出物 小テスト 技術到達度